

# 安全データシート

SDS整理番号 00002

作成年月日： 2020年3月9日

## 1.製品情報及び会社情報

改訂年月日： 2020年4月1日

製品名 (商品名)

アルコールスジェル

販売元	株式会社アークラボ
製造販売元	株式会社メディカルアーク
住所	大阪府堺市美原区太井483-2
電話	072-369-1188 (代)
FAX	072-369-3339

製品区分	エタノールを主剤とする混合物
推奨用途	食卓・机・浴室・トイレ・手すり等用除菌剤

## 2.危険有害性の要約

GHS分類 (エタノールとして)

物理化学的危険性

爆発物	分類対象外
可燃性又は引火性ガス	分類対象外
引火性液体	区分2
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
金属腐食性化学品	区分外

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外
急性毒性 (気体)	分類対象外
急性毒性 (蒸気)	区分外
急性毒性 (粉塵)	区分外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性又は目刺激性	区分2B
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1A

# 安全データシート

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

区分3（気道刺激性、麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

区分1（肝）

区分2（神経）

吸引性呼吸器有害性

区分外

環境に対する有害性

水生環境急性水生毒性

区分外

水生環境慢性水生毒性

区分外

オゾン層への有害性

区分外

上記に記載がない危険有害性は分類対象外

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

重篤な眼の損傷

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器（中枢神経、腎、全身）の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ、または眠気またはめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（肝）の障害

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（神経）の障害のおそれ

## 3.組成及び成分情報

化学名	CAS No	含有量（重量%）	化審法番号	労働安全衛生法	PRTR法
エタノール	64-17-5	66.6	(2) -202	通知対象物質	非該当
精製水	7732-18-5	30.62	-	通知対象物質	非該当
グリセリン	56-81-5	1.47	-	通知対象物質	非該当
ヒドロキシプロピルセルロース	9004-64-2	0.9	-	通知対象物質	非該当
ヒアルロン酸Na	9067-32-7	0.01	-	通知対象物質	非該当
香料	-	0.4	-	通知対象物質	非該当

## 4.応急措置

吸引した場合

新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師の診断、手当てを受けること。

# 安全データシート

皮膚に付着した場合	皮膚を速やかに洗浄すること。 大量に付着した場合、衣服を直ちに脱がせ、水で流しながら洗浄し石鹸を使って洗浄する。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う事。 眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 コップ数杯の水を飲ませ希釈し、可能であれば指でのどを刺激し吐き出させ、直ちに専門医の手当てを受ける。

## 5.火災時の措置

消火剤又は消火方法	散水、炭酸ガス、粉末消火器で消火する。 大火災の場合は散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤で消火する。
使ってはならない消火剤	棒状注水（散水によって火災が広がる恐れがある場合は、上記に示す消火剤のうち散水以外の適切な消火剤を使用すること。）

## 6.漏出時の措置

注意事項	作業の際には、適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。 蜜閉された場所の場合は、直ちに換気する。 浸透性及び発揮性があるので、付近の着火源となる可燃物は速やかに取り除く。
除去方法	少量の場合は、漏出した場所を速やかに大量の水で洗い流す。 大量の場合は、漏出液を密封性のある容器に可能な限り回収し、回収できない液は大量の水で洗い流す。

## 7.取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意事項	周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え又は引きずるなどの扱いはしてはならない。 吸入又は飲み込まないこと。 眼に入れないこと。 屋外又は換気の良いところで使用すること。 この商品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保管上の注意事項	乳幼児の手の届かないところに保管すること。 直射日光のあたるところや火気等の近くなど40℃以上になるとことからは避けて冷暗所に保管すること。

## 8.暴露防止及び保護措置

設備対策	取扱いについては、火気のない換気のよい場所で行う。
許容濃度	STEL 1,000ppm (1,880mg/m <sup>3</sup> )
保護具	
呼吸器用保護具	: 高濃度の場所では有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具	: ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	: 高濃度の場所では保護眼鏡を着用する。

# 安全データシート

皮膚及び身体の保護具 : ゴム前掛、安全靴、帯電防止衣服を着用する。

## 9.物理的及び化学的性質 (エタノール (事業法アルコール) として)

物理的状態、形状、色	: 透明な液体
臭い	: アルコール臭
pH	: 中性
融点・凝固点	: -114°C以下
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 78~97°C
引火点	: 14°C (密封)
爆発範囲	: 下限2.1vol.%、上限19.0vol.%
蒸気圧	: 5,880Pa (20°C)
蒸気密度 (空気=1)	: 1.7
密度	: 0.791g/cm <sup>3</sup> (20°C)
自然発火温度	: 350°C以上
比重 (相対密度)	: 0.794 (20°C)

## 10.安定性及び反応性

化学的安定性	通常の取扱い条件においては安定であり、危険有害な分解生成物は発生しない。
危険有害反応可能性	硝酸、硝酸銀、硝酸水銀、過塩素酸マグネシウムなどの強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

## 11.有害性情報 (エタノール (事業法アルコール) として)

急性毒性	経口 ヒト	LDL0	1,400mg/kg	行動、胃腸 (吐気)
	経口 ラット	LD50	7,060mg/kg	呼吸器系
	経口 ヒト (男)	TDL0	700mg/kg	行動 (精神生理学上)
	吸引 ラット	LC50	20,000ppm/10h	毒性未評価
	注射 ラット	LD50	1,440mg/kg	呼吸器系
	注射 犬	LDL0	1,600mg/kg	運動失調、呼吸器系
	腹腔 哺乳類	LD50	4,300mg/kg	運動失調
	皮膚腐食性/皮膚刺激性	皮膚 ラビット	400mg 開放	症状 (軽度)
皮膚 ラビット		500mg/24h	症状 (重度)	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	OECD TG405及びDraize testに従った試験により「moderate irritating」と評価されている。			
	ヒトで角膜上皮の障害、結膜充血は1、2日間で回復する。			
	眼	ラビット	100mg/24 h	症状 (中度)
呼吸器感作性	知見なし			
皮膚感作性	動物試験での有意の皮膚感作性はみられない。			
生殖細胞変異原性	ラット及びマウスにおける優勢致死試験において、陽性結果の報告がある。			
変異原性	小核	マウス (腹腔)	: 1,240mg/kg · 48 h	
発がん性	IARCでは「アルコール性飲料としてヒトに発がん性がある」としてグループ1に分類しているが、これは、アルコール性飲料と食道系及び肝臓がんの因果関係を認めた			

# 安全データシート

ものである。

経口 マウス：TDL0 320mg/kg/50週毒性未評価

生殖毒性

アルコールの習慣的な大量摂取により、ヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている。

吸入 ラット TCL0 20,000ppm/7h、妊娠、1～22日 発育異常

経口 ラット TDL0 44g/kg、妊娠、7～17日 発育異常

特定標的臓器毒性・全身毒性

単回ばく露

ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経に影響を与え、頭痛、疲労、集中力を低下させ、急性中毒の場合には、死に至ることがある。

反復ばく露

ヒトで5,000ppm (9.4mg/L) の吸引により、気道刺激性、盾迷、病的睡眠を起こす。

ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんどすべての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と繊維化を経て肝硬変に至る。

アルコール中毒患者の禁断症状（振戦症状、てんかん、精神錯乱）

吸引性呼吸器有害性

知見なし

## 12.環境影響情報（エタノール（事業法アルコール）として）

分解性

理論酸素要求量（ThOD） 2.10

BOD5 理論酸素要求量の44～80%

COD 理論酸素要求量の90～100%

バクテリア硝化能の制御4,100mg/Lでニトリリモノナス類のアンモニア酸化の50%制御

生態毒性

マスの幼魚 LC50 11.2g/L・24h

コイの一種 LC50 18～13.4g/L・96h

グリーンクチャブ LC50 7.0g/L・24h

グッピー LC50 11.0g/L・7day

## 13.廃棄上の注意

製品の廃棄については取扱い及び保管上の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項によること。

容器はリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去（水洗い）すること。

取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性液体に関する一般的な注意事項による。

## 14.輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の項に従う。

輸送運搬には製品を転倒、落下、衝撃をあたえないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国連分類 : クラス3 (引火性液体)

国連番号 : 1987 アルコール類 容器等級II

国内規制

消防法 : 第2条 別表第1 第4類 引火性液体 3 アルコール類 (指定数量400L)

# 安全データシート

航空法 : 施行規則第194条3 (引火性液体 (引火点60°C以下))  
港則法 : 規則12条 危険物告示別表 2号 引火性液体類 ホ  
危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 第2条第1号 ハ (1) 引火性液体

取扱い及び保管上の注意の項の記載の他、消防法により第1類及び第6類との混載禁止。

## 15.適用法令

消防法 : 第2条 別表第1 第4類 引火性液体 3 アルコール類 (指定数量400L)  
労働安全衛生法 施行令 別表第1 危険物 第4号 引火性の物 3 (エタノール)  
施行令 別表第9 名称等を通知すべき有害物 61 (エタノール)

## 16.その他の情報

参考文献 財団法人バイオインダストリー協会: アルコールハンドブック第9版 (1997)  
社団法人日本化学会編: 化学便覧 (改定4版) p.I-280、I-604、丸善 (1993)  
化学工業日報社: 13700の化学商品  
化学工業日報社: 国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版第3集 (1997)  
独立行政法人製品評価技術基盤機構GHS分類結果 エタノール  
宝酒造株式会社SDS  
大伸化学株式会社SDS

### 注意

本書の内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手出来た資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては如何なる保証をなすものではありません。

全ての化学製品には、未知の危険性や有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。

本書には通常の危険性や有害性について記載してありますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しないことは保証できません。

記載事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全策をご実施の上、取扱いをお願いします。